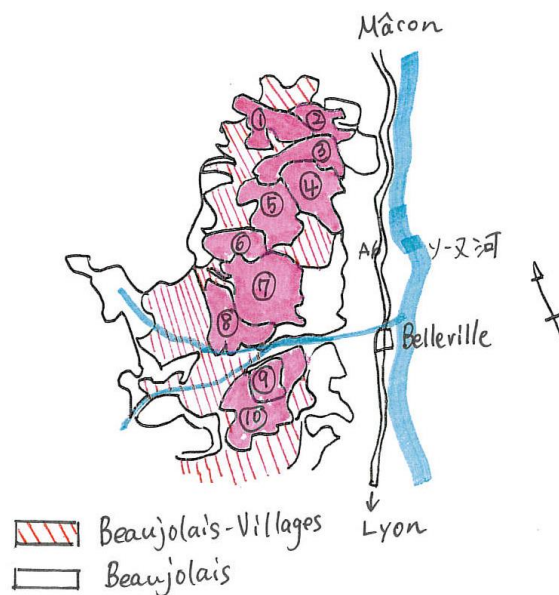


生産地

マコンからリヨンへ南下する途中、西側に大小起伏のある山々の連なる光景が一面に広がる。ベルヴィル村から西へ6kmほど緩やかに登りきったところに、ヴィリエ・モルゴン村がある。その村の中心地から少し外れたところにジャン・フォワヤールのドメーヌがある。畑の総面積は16.2ha。そのうち11.2haはクリュ・ボジョレー・モルゴン‘クリマ’の畑。特に評価の高い区画コート・デュ・ピイが6ha、コルスレットが4ha、レ・シャルムが1.2ha。フルーリーの畑は所有しておらず、弟レジス・フォワヤールの畑 フルーリー クリマ グリーユ ミディの畑から葡萄を買って仕込んでいる。その他の畑もモルゴンとボジョレーヴィラージュの境界付近に点在し、テロワールの的には非常に恵まれている。気候はコンチネンタルで、夏は大変暑く、冬は大変寒い。東西南北に広がる丘陵地帯によって、冷たい風や多量の雨からブドウ畑が守られている。



Crus Beaujolais

- ① Juliéna
- ② St-Amour
- ③ Chénas
- ④ Moulin-à Vent
- ⑤ Fleurie
- ⑥ Chiroubles
- ⑦ Morgon
- ⑧ Régnié
- ⑨ Côtes de Brouilly
- ⑩ Brouilly

モルゴン

1100ha、6つの‘クリマ’に(グラン・クラ、レ・シャルム、コート・デュ・ピイ、コルスレット、レ・ミクー、ドゥビー)が存在する。土壌は砕けやすい変成岩が風化し形成。酸化鉄、マンガン、シスト、大昔から「腐敗した岩石」と呼ばれる火山系の岩石などを豊富に含む。

(コルスレット)

土壌は砂岩混じりの石灰質。北に位置。

(コート・デュ・ピイ)

マンガンを含む細かく砕けた花崗岩質シスト。南に位置する小高い丘。



コート・デュ・ピイの小高い丘

フルーリー

850haに13の‘クリマ’(レ・ロッシュ、レ・ラブロン、ポンシエ、ラ・ロワレット、レ・ギャラン、モンジュナス、ラ・シャペル・デ・ボワ、レ・コート、ル・ボン・クリュ、シャンパーニュ、ラ・マドンヌ、グリーユ・ミディ、レ・ロッシュ)が存在。

土壌はピンクの砂岩混じりの花崗岩。フルーリーの丘の上、マドンヌのドメーヌ・ラ・シャペル付近は、粘土がほとんどなく土地が酸性で痩せている。村の麓付近は、粘土質が多くみられる。

← フルーリーの丘

